

八千代市イメージキャラクターやっちゃん



八千代市 農業委員会だより



「ブルーベリーハイブッシュ 麦猫農園」

新規就農者インタビュー

取材

八千代市麦丸
近藤明子さん
ブルーベリー農家



▲近藤明子さんとインタビューの稲垣農業委員(2022/11/22 麦猫農園にて)

就農前には会社員をしていた近藤さん。佐倉のブルーベリー園で2年の研修を経て、2020年からブルーベリーを定植し、栽培に励んでいます。

「麦猫農園の由来」
近藤さんが猫好きということ、麦丸でブルーベリーを栽培しているため「麦猫農園」という農園名にしたそうです。

Q ブルーベリーの栽培を始めたきっかけは？

A 20代の頃よりフルーツ農園を作りたいという思いがあったことから、農業の仕事がしたいなと漠然と考えていました。八千代市の農業ボランティアの活動を通して、作物に触れることがますます好きになっていき、4年前に参加した「女性のための新規就農講座」が就農を決意するきっかけとなりました。

そこで、摘み取りをした「ハイブッシュ」という系統のブルーベリーの美味しさに驚き、これを作りたい！と思ったんです。ブルーベリーを栽培できる場所を探すのに苦労しましたが、農業ボランティアでお世話になった方のお力添えもあり、農地を借りることができ、ブルーベリーの栽培を始めることができました。



Q 何種類くらいの品種を栽培していますか？

A 収穫が6月メインの「ハイブッシュ系」と7月～8月の「ラビットアイ系」の2系統を約30種類栽培しています。特に大粒で甘く、食べた時に皮や種を感じないと言われる「ハイブッシュ系」を多く栽培しています。寒冷地ではないと育てにくいと言われていますが、接ぎ木を使うことで、よく成長するようにしています。



▲2022年夏に出荷したラビットアイ系のブルーベリー



Q 就農して感じたことは？

A 1年目は、農業というより、土づくりのための土木作業が続ぎ、腰を痛めたりと、身体的にもきつかったです。今も特に夏場の除草作業などがとても大変ですが、少しずつ大きくなるブルーベリーを見たり、作業をエクササイズとったりしてなんとか乗り切っています。

Q 苦労していることは？

A ブルーベリーは鳥に「実」を食べられてしまうので、鳥害対策に苦労しています。研修をした佐倉のブルーベリー園で行っている方法を取り入れましたが、私の農地では効き目がなく、今年少し成らせた「実」は鳥にかなり食べられてしまいました。来年は、防鳥ネットを掛けることも考えましたが、さらに調整をして対策することにしました。ちゃんと防鳥できるかドキドキのところです。

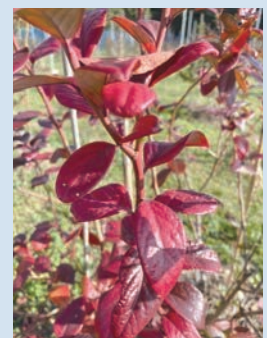


Q やりがいを感じる瞬間は？

A 今はまだやりがいを感じる瞬間は少ないですが、取り切れないほどの大粒にできた「実」を収穫したり、その「実」を食べた方から、「美味しかった」と言っていたら、きっとやりがいを感じるだろうと想像して頑張っています。



▲ハイブッシュ系のブルーベリー
(2022/6/3撮影)



▲ブルーベリーの紅葉
(2022/11/11撮影)

Q 今後のビジョンは？

A 今は木を成長させるために、剪定で花芽を落としているので、「実」をもっと成らせて、2024年からは、出荷だけでなく、お客様に少しずつ摘み取りに来ていただくことができたらと思っています。

取材後記

20代の頃からのフルーツ農園を作りたいとの想いが、ブルーベリーと出会い実現し、素晴らしいと感じました。現況は大変なことがたくさんあるようですが、ご自身の努力と工夫などの積み重ねが結果に直結していくと思います。今後、たくさんの美味しいブルーベリーを皆様に提供されていくことでしょう。心より応援させていただきます。

(取材担当:稲垣委員)

女性委員のご紹介

女性農業委員 インタビュー 2/2

黒澤 京子 × **農業委員会
推進委員** × **農業委員会
事務局**

就任：令和2年度～
担当：佐山・平戸地区

前回に引き続き、黒澤京子推進委員に農業委員会の活動についてお話を伺いました。

→前回の続き

事務局 推進委員になってから心境の変化はありましたか？

黒澤委員 自分をもっと変わらなくてはという部分ですかね。それは農業に限ったことではありませんが、男性に任せておけばいいかなと思う部分がついついあると思うんですね(笑)。男性だから女性だからではなく、もっと自分が積極的にならなくてはと思いました。

事務局 そのように感じたエピソードはありますか？

黒澤委員 東葛飾・千葉ブロック内の女性農業委員・推進委員が集まる研修会に参加した際に、積極的に活動している女性農家の方々の話を聞いて、「こんなに活躍している人がいるんだな。私も頑張らな」と感じました。

事務局 その研修会で参考になったことはありますか？

黒澤委員 千葉市農業委員会主催の研修会で「いちご観光農園」と「しよいか〜ご千葉店」の視察に行った時は、施設が近代的ないちご農園や経営規模が大きいJA千葉みらいの直売所を見学することができ、勉強になりました。



女性農業委員・推進委員の研修の様子

研修を行った「しよいか〜ご千葉店」の前にて

▶ 右…黒澤推進委員
左…黒崎農業委員



また、東葛飾・千葉ブロック内の女性委員が集まるので、色々な話が聞けますが、中でも経営規模が大きい方の話は、参考になる情報など聞けて、良かったです。

事務局 現在、八千代市農業委員会は、女性委員が2名という状況ですが、これからの女性登用の推進についてどのように思いますか？

黒澤委員 もっと女性委員が増えたら嬉しいです。様々な農業の問題を審議する際も、女性ならではの視点で意見することも必要だと思います。夫婦もそうですけど、農業委員、推進委員の活動も女性と男性でできることをお互いに助け合って行けば、良い方向に進んでいくと思います。

農業委員会の活動と聞くと大変そうに思いますが、周りのサポートもありますし、何とかあります。少しでも関心があれば、難しく考えないで女性の農業委員・推進委員という活動に飛び込んでくれたらいいなと思います。

「いちご観光農園」での見学の様子



女性農家の皆さんへ

農業委員・農地利用最適化推進委員として活躍してみませんか？
関心のある方は、ぜひ地元の農業委員・農地利用最適化推進委員または事務局にご連絡ください！

農業委員会について

「農業委員会・農業委員・農地利用最適化推進委員の役割②」

農業委員会の活動について、今回は**農業委員会・農業委員**の役割についてご紹介しました。今回は、**農地利用最適化推進委員**がどのような役割を担っているのかをご紹介します。

農地利用最適化推進委員は、農地利用の最適化のため、担当地区での実践的な活動をします。委員会が定める区域ごとに農業者からの推薦を求めるとともに公募を行い、農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有する者のうちから、農業委員会が委嘱し、任命されます。



— 主な活動内容 —

- 農地転用許可申請等の現場を確認し、現場の意見を農業委員会総会に届けています。



- 日常的な農地の見回りによる農地の適正利用の確認や、遊休農地の発生防止と解消に努めています。



- 新規就農者の相談対応や、就農後のフォローをしています。



- 農地の出し手と受け手の意向について聞き、農地の貸借や売買のあっせんを行っています。



農地のお困りごとがありましたら、地域の委員へお声がけください。

農業委員会の活動

「農地の利用状況調査の結果についてお知らせします」

農業委員会では、遊休農地の現状把握のため、農地法に基づき毎年1回農地の利用状況調査を実施しています。令和4年度の結果は【表1】のとおりです。農家の皆様におかれましては、ご協力いただきありがとうございました。

【表1】 令和4年度 農地利用状況調査結果 (単位:㎡)

区分 地目	2号 遊休農地	1号 遊休農地	計
田	170,225	514,085	684,310
畑	77,037	213,342	290,379
計	247,262	727,427	974,689

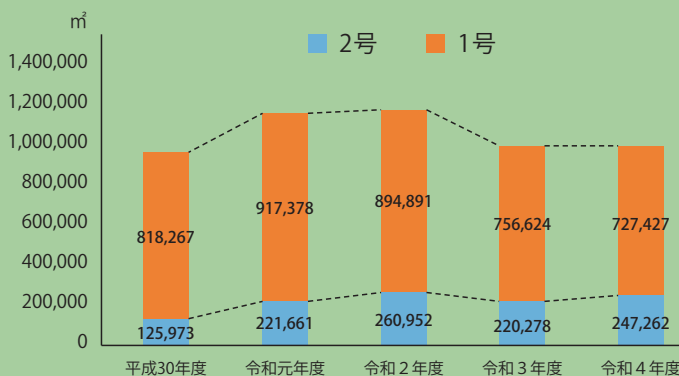
*** 2号遊休農地:**

雑草が繁茂しているが、トラクター・耕運機等を利用して耕作が可能となる農地

*** 1号遊休農地:**

トラクター・耕運機等を利用しても耕作が可能とならない農地

【参考】 直近5年の遊休農地面積の推移



利用状況調査の結果、遊休農地と判定されました農地の所有者に対しまして、利用意向調査を行っていますので、回答の返送にご協力をお願いします。

また、次回は令和5年8月頃に実施する予定です。調査の際は、農地に立ち入ることがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

ご案内



充実した農業・農村の情報が届く！

発行日：毎週金曜日（月4回）

購読料：月額700円（送料・税込み）

申込み先：農業委員会事務局（☎421-6793）

八千代市農地の賃借料情報についてお知らせします

令和4年1月から12月までの農地法第3条の賃借権設定と農業経営基盤強化促進法の利用権設定による賃借料は、【表2・表3】のとおりです。

この賃借料情報は、農地の貸し借りをする場合の参考のために、申請内容に基づき集計したものですので、実際に賃借料を決定する際は、貸し手と借り手の両者でよく協議してください。

【表2】 田(水稻)の部 (単位：円/10a、筆、件)

締結(公告)された地域名	平均額	最高額	最低額	データ数	件数
第1区	—	—	—	—	—
第2区	10,400円	17,300円	5,800円	13	9
第3区	17,300円	17,300円	17,300円	1	1
(参考) 八千代市平均	10,900円			14	10

【表3】 畑(普通畑)の部 (単位：円/10a、筆、件)

締結(公告)された地域名	平均額	最高額	最低額	データ数	件数
第1区	—	—	—	—	—
第2区	10,300円	17,800円	3,700円	26	11
第3区	10,500円	12,000円	6,900円	33	15
(参考) 八千代市平均	10,400円			59	26

【参考】 過去3年間の平均額(八千代市全域) (単位：円/10a、筆、件)

	R2	R3	R4	3年平均
田	18,600円	10,800円	10,900円	15,600円
畑	11,200円	16,900円	10,400円	12,100円

- * 1 第1区：概ね旧大和田町（大和田、萱田、ゆりのき台、萱田町、高津、高津東、八千代台、大和田新田、緑が丘、緑が丘西）
第2区：概ね旧睦村（小池、真木野、神久保、島田台、大学町、平戸、佐山、島田、桑納、桑橋、吉橋、尾崎、麦丸）
第3区：概ね旧阿蘇村（勝田、下市場、勝田台、勝田台南、勝田台北、村上、村上南、米本、神野、保品、堀の内、上高野、下高野）
- * 2 データ数は、集計に用いた筆数。金額は、算出結果を四捨五入し100円単位となっています。
- * 3 物納としているデータは米60kg当たり11,500円に換算しています。
- * 4 件数は、賃貸借権設定数（貸主、借主が同一の場合1件）。
その他、これに含まない使用貸借権（賃料0円）の設定数は18件（45筆）。
- * 5 「(参考)八千代市平均」の平均額は、全てのデータ（筆）の平均額。
- * 6 賃借料情報には水利費等の諸経費が含まれている場合があります。

令和5年度八千代市農業施策に関する意見書の回答について

農業委員会から服部友則市長へ提出した「令和5年度八千代市農業施策に関する意見書」の回答が令和5年1月26日付けでありました。回答につきましては、次のとおりです。

1 多目的防災網への市単独補助について

(回答) 梨業においては、「鳥類」による被害からの対策としては、多目的防災網の有効性は理解しております。今回の多目的防災網（新規）につきましては、農業者からの要望はございませんでした。なお、園芸農産物産地生産力強化支援事業では、多目的防災網の再整備費については、補助の対象外となっております。

このことから、別事業であります、気象災害に強い果樹産地支援事業では、多目的防災網の再整備費については対象となるので事業の鞍替えを行いました。県費については予算化を図れましたものの、市補助分は要求いたしましたが、予算の配分に至りませんでした。

今後も農業発展を図るため補助の必要性を説明しながら、配分が行えるよう努めて参ります。

2 第三者継承の促進について

(回答) 意見書の第三段落中の「経営継承・発展支援事業」は、農林水産省所掌の「経営継承・発展等支援事業」であるものと理解して回答いたします。同事業は、中心経営体等である先代事業者からその経営に関する主宰権の移譲を受けた後継者であって所定の要件を満たす者に対し、100万円を上限に国と市が2分の1ずつ負担し実施する事業でありますので、同事業の活用について相談等があった際は適切に予算措置その他の対応を行って参りたいと考えております。

また、梨の生産者に限らず、後継者不足、離農及び担い手への引継ぎに関しては重要な課題であると認識しておりますので、これらに係る研究・検討も併せて進めて参りたいと考えております。

3 稲作農家に対する補助事業の創設について

(回答) 新規需要米生産支援事業につきましては、市単独補助事業として予算要求しましたが、予算措置には至りませんでしたので、継続して予算措置に努めてまいります。

また、主食用米の生産を行う農家の農業収入の底上げに寄与するような事業の創設については、具体化に向けて研究・検討を進めて参ります。

4 肥料・資材価格高騰への対策について

(回答) 昨年11月議会において、肥料価格高騰対策として補助金の予算化を図り支援を行いました。国による肥料価格高騰対策事業は、施肥量低減への取組みが要件となり、農業者の足かせになると考えられるため、補助金申請時に負担にならないように本市においては、条件を設けず昨年の確定申告における肥料購入費の12%を支援するものとしたしました。延べ154名の申請をいただきました。

今後も肥料等の価格高騰が予想されますので引き続き注視し対応して参りたいと考えます。

※提出した意見書の内容につきましては、農業委員会だより第49号並びに市ホームページをご覧ください。

ご案内

農業者年金で 老後の生活に 備えませんか

- ★国民年金第1号被保険者(納付免除者を除く)・60歳以上65歳未満の国民年金任意加入者
- ★年間60日以上農業に従事
- ★20歳以上60歳未満の方ならどなたでも加入できます。



農業者年金にはメリットがたくさん!

老後の備えは **国民年金+農業者年金** で!

問い合わせ先

農業者年金のご相談・加入申込みは、JA 八千代市 (☎450-3711) または農業委員会事務局 (☎421-6793) へ。

編 集 後 記

第50号をもちまして、現在の広報委員会メンバーでの農業委員会だよりの発行は最後となります。各委員から挨拶申し上げます。

広報委員として携わることが出来ましたことに対し、お礼申し上げます。新型コロナウイルス対策等で大変な時期に広報委員の皆様や事務局のご協力に感謝します。

(広報委員長 間野 恵一)

3年間農業委員を経験させていただき、都市部の農業者の高齢化、離農などが増えていることを認識し、農地の維持、農業の大変さを感じました。地域の皆様のご協力に感謝致します。

(広報副委員長 稲垣 哲也)

3年間広報委員として委員の皆様と事務局のご協力をいただきながら、任期を終了することができました。ありがとうございました。

(広報委員 長岡 勇)

広報委員の活動のなかで、たくさんのご協力や、アドバイスを賜りありがとうございました。

(広報委員 黒澤 京子)

3年間皆様には、大変お世話になりました。

(広報委員 立石 猛)

3年間広報委員として活動させていただき、ありがとうございました。

(広報委員 網島 和朗)

広報委員として、取材に行った先でコロナ禍にも関わらず、丁寧に対応してくださったことに、感謝いたします。

(広報委員 佐藤 孝之)



▲左上から長岡委員、佐藤委員、網島委員
立石委員、稲垣副委員長、間野委員長、黒澤委員

令和5年3月発行
第50号

発行 八千代市農業委員会
編集 広報委員会

〒276-8501
八千代市大和田新田312-5
電話047(421)6793

URL <http://www.city.yachiyo.chiba.jp/500500/index.html>